



東北教区報 2020年8月号

# あけぼの

発行所

日本聖公会 東北教区

仙台市青葉区国分町2-13-15

TEL 022-223-2349

FAX 022-223-2387

URL <http://nssk-tohoku.com/>

## シリーズ「東北の信徒への手紙」 「変化」の中で教会を考える

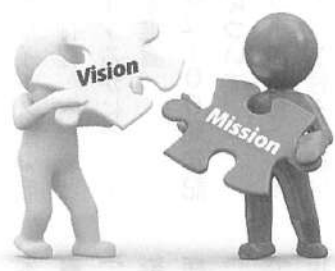
司祭 ヨハネ 八木 正 言

先日、祭服や聖具を販売するアメリカの大手メーカーが、祭服にあらわして四色（白・赤・緑・紫）の、ストールと同じ柄のマスク販売をはじめたというニュースを知りました。そのニュースを聞いて思い出したのが、かつて、主教や司祭、執事もマニプルと呼ばれるストールを小さくしたような形のものに巻き、祭服の一部としていたことです。これは、もともとはスタリウムと呼ばれる「汗拭き」が形骸化したもので、主イエスが十字架につけられた際に手を縛った縄も象徴しているといわれています。今ではマニプルをつけることはほとんどなくなりました。時の流れと共に祭服も変化を遂げていると言えるでしょうか。その意味ではマスクも、もしかしたら近未来には当たり前のように祭服の一つとして採用されているのかも知れない、そ

んな想像をしました。そして考えたこと……。

幼少の頃、手塚治虫氏の描いた漫画『鉄腕アトム』が大好きでした。車が空を飛び、感情をもったロボットたちが活躍する情景は、空想の世界だからこ

その自由さや夢のあふれるワクワクする世界でした。あれから半世紀、そんな空想の世界が現実のものとなりつつあります。自動車の自動運転実用化はもうすぐ目の前に迫っています。もしかしたら、「昔は車を運転するのに免許証が必要だったんだって」などと会話が交わされる未来がやってくるのかもしれない。ドローンを大型化し



たような人の乗れる、空飛ぶタクシーの開発も進められているそうです。また巷ではAIの普及によって、近未来には人間の仕事でなくなる職業があると噂されています。まさに『鉄腕アトム』の世界です。さらに近頃では、水道の蛇口の下に手を出して「先生、水が生まれません」と話す、蛇口をひねって水を出すことを知らない子ども、トイレで自分で水を流すことを知らない子どももいると聞きます。

こうした変化が憂うべき現実なのかどうかは別に、僅か半世紀の間に、日々の生活様式とそれを取り巻く「技術」は格段に進化・変化を遂げたのは事実です。

時代と共に生活様式が変化した一方で、キリストの教会はどうでしょうか。祭服がどのような変化を遂げたのか、遂げるのかはともかくも、主イエスが「わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われた聖餐は、2000年の間不変のものとして守られ

てきましたし、これからは守られていくでしょう。しかしその方法については、東面式から対面式になり、文語体から口語体になり、信徒が参与する場面も増えるなどキリストの教会も変革を遂げてきました。1968年ランベス会議やローマカン公会議を経てのそうした変革は、イエスとこの原点に立ち戻るからこのことでした。

今、わたしたちは、新型コロナウィルスの蔓延という範疇を超えて、軸足をしっかりとイエスという原点におきつつ、すなわち時代の趨勢だからではなく、あらためて今の時代、この世界、社会におけるキリスト・イエスの「宣教ミッション」とは？を解釈し続ける決意を新たにしなければならぬと思います。「変えることのできるものを変え、勇気と、変えてはならないものを受けいれる冷静さと、それらを識別する知恵をお与えください」(ラインホルド・ニーバー)と祈りつつ。

(若原諭聖徒教会・郡山聖ペテロ 聖パウロ教会 牧師)

## 教区・管区における中止・延期となった行事

(2020.7.22現在)

### 【中止】

#### <教区>

- ・一日黙想会
- ・被災地巡りツアー
- ・青年キャンプ2020 (年末に別企画予定)
- ・教区修養会
- ・教区成立100周年記念礼拝

#### <管区・他教区・関連団体>

- ・2020年沖縄週間/沖縄の旅
- ・広島平和礼拝2020
- ・人権セミナー
- ・日本聖公会保育連盟全国保育者大会
- ・日本聖公会保育連盟東北教区保育者大会

### 【延期・規模縮小】

#### <管区・他教区・関連団体>

- ・日本聖公会第65 (定期) 総会  
10月27日(火)~29日(木)に延期
- ・主教按手式・中部教区主教就任式  
10月24日(土)に延期
- ・各教区聖職按手式
- ・長崎原爆記念礼拝 (規模縮小)
- ・全国青年大会 (無期延期)
- ・CCEAアジア青年大会 (無期延期)
- ・ランベス会議 (2022年に延期)
- ・日韓聖公会青年セミナーin釜山 (無期延期)
- ・日本聖公会社会福祉連盟大会 (2021年に延期)

### 常置委員会報告 6/20開催

#### ■常置委員長報告

東北教区現在堅信受領者数685人(前年比10人減)、1人当たりの年間平均献金額65,693円(同36円増)。

#### ■協議事項

(1) 第103 (定期) 教区会について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、日程・内容をどのように修正するかについて協議。書記を推薦。

(2) 教区成立100周年記念誌の発行について

プロジェクト設置についてこれを承認し、名称を「教区成立100周年記念誌編纂プロジェクト」とし、推薦のあったメンバーを承認。またプロジェクトの今後の進め方について進言する内容を協議。

(3) 宣教強化資金運用規程の改訂について

白河基督聖公会土地売却残金を宣教強化資金に繰り入れることに伴い、同資金運用規程前文にその旨を追記した改定案について協議、承認。

### 7/17開催

#### ■主事会議関連報告

(1) 公開礼拝再開後の各教会の経済的維持可能性について速報版に基づき報告。

(2) 「令和2年7月豪雨」に対する支援として、九州教区災害支援室に20万円の支援金を送ることの承認を求められ、本常置委員会はこれを承認。

#### ■協議事項

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響に関する今後の礼拝の対応について

第6信は「未だ原則第5信での留意事項を維持し続ける状況にあること」「司式者(会衆についても)のマスクについては、暑さが厳しくなってきた中、着用には限界があり、『み言葉』の部分では外すことも想定されること」「但し変更を行う場合は、礼拝前に教会委員会や参列者の同意を得ること」を主旨とした内容に留め配信することを確認。

(2) 影山博美司祭逝去記念式について

聖餐式ではなく「逝去者記念式」とすることとした。日時は8月10日(月・祝)13時30

分、司式/吉田雅人主教、補式/東北教区聖職団、説教/長谷川清純司祭。全体の進行は赤坂有司常置委員長。

(3) 第103 (定期) 教区会について

議事日程は11月23日(月・祝)9時(開会聖餐式)~17時とし、間に合わない議員のみ前泊対応する。また3密を避けるため、議場を礼拝堂に変更、することを確認。

(4) 聖アルバン幼稚園改築に伴う青森聖アンデレ教会旧礼拝堂の解体と境内地変更について

「基本財産処分の件」について確認し、工期の関係からそれを承認し、次期教区会で追認を求めるとした。

### 堅信おめでとう

トマス 大槻 悦夫  
テレサ 福士 美咲  
クリステイーン 燕 艶  
(6月7日・仙台)

### 永遠の平安

プリスキラ 宮嶋 冨子  
パウロ 瀧口 民郎  
(5月31日・仙台)  
(6月21日・仙台)



あなたの

右の御手で私を

かかえてください

八戸聖ルカ教会

パウロ 島守 信昭



東日本大震災で冷凍冷蔵庫や製造機械が使用不能になり、会社存続を模索していた時、同じように被災した親戚の水産会社から2社で合併して危機を乗り越えようとの申し出がありました。合併を前提として、両社が指導を受けていた東京のコンサルタンツ会社の仲介で株式会社企業再生支援機構（以下機構）へ支援を要請。機構は日本航空を再生し脚光を浴びていた会社である。

様々な条件をクリアしてようやく話を聞いてもらえる機会を得た時のことでした。

2011年5月15日、機構への説明のため夜遅くまで準備を進めていた時のこと。私が会社を代表して、現状や今後の見通しなどの話をしなければならぬが、いい材料は全く見当たらない。内容によつては駄目になるかもしれないが、ここは開き直つて実情を隠すことなく伝えるしかありません。思い悩む私を見かねたのであろうか、妻が声を掛けてきた。

「説明の前にお祈りをする」と気持ちが悪く着くわよ。その祈りの言葉が「聖霊の息吹で私を満たし、私が今なすべきことができますよう、あなたの右の御手で私をささえてください」でした。

翌日、手帳の表紙裏に書いたこの祈りを心の中で唱えてから説明を始めました。話し終え10名の機構のメンバーの目を見たとき、思いを伝えることができたという手応えを感じました。それから半年、紆余曲折がありました。11月24日支援決定、翌年5月1

日新会社発足。合併の目的であった「従業員の雇用を守る」と、「ブランドを継承すること」ができたことに安堵しました。

2009年3月、8年間の東京でのサラリーマン生活を終え八戸に戻り、本家が経営する水産会社に入社。帰郷してから日曜礼拝に出かける妻の送迎が始まりました。時々復活祭やクリスマスなどの礼拝に出席、またバザーの男手が足りない時には荷物運びや焼きそば作りの手伝い。何となく教会の雰囲気馴染んできたころ、佐藤真実司祭さまから洗礼を受けませんかと声を掛けていただいた時、不思議と迷わずに「はい」と返事をしました。

震災前の1月16日に洗礼を受け、震災後の4月17日加藤博道主教さまより堅信を受けることができました。瓦礫を片付ける日々、会社再興を模索する中、日曜の礼拝に出席して心を落ち着けることができたことは、私にとって大きな救いでありました。主に感謝します。

その日の礼拝で歌う聖歌の番号を知らせる道具です。形は教会によつてさまざま、最新式では電光掲示板式のものもあります。

### 礼拝堂探検隊

礼拝堂にあるいろいろなもの、その意味を調べてみました。

#### (第9回 聖歌表示板)

チャンネルに上がる前に目に入るのは「聖歌表示板」。この正式名称は分かりませんが、

その日の礼拝で歌う聖歌の番号を知らせる道具です。形は教会によつてさまざま、最新式では電光掲示板式のものもあります。

聖歌番号を知らせるという意味では、別になくてもよいかも知れません。聖歌番号は週報に印刷してありますし、歌う直前には司式者やサーバが番号を告げるのですから。しかし教会は目の不自由な方、耳の不自由な方にも開かれています。高齢の信徒の方々が増えるにつれて、今の聖歌集では重過ぎるといふ声も聞かれますし、アナウンスの声が聞こえにくくなったという方もおられるでしょう。

そこで教会によつては、パソコンとプロジェクターなどを用意して、少しでも見やすくなるような工夫をしている



(聖歌表示板・八戸聖ルカ教会)

ところもあります。また一人一人に音が聞こえるように、会衆席に小さな個人用スピーカーを着けているところもあるそうです。あるいは手話通訳者がおられる所もあります。「聖歌表示板」はその中でも、最も古くから愛用されている「会衆をサポートする道具」なのかもしれません。それともう一つ、この表示板は聖歌番号だけでなく、その主日の名称も示しています。これは今がどのような時（神様の時—カイロス）かを知らせているのです。いずれにせよ、福音はすべての人に開かれています。神様はすべての人に福音がとどくことを望んでおられます。そのために私たちのできること、神様の宣教の業に奉仕できることを見出していきたいものです。(教区主教)





### 青森聖アンデレ教会

春の人事異動でおひげの愛称の長谷川司祭様が当教会に着任されました。異動早々のコロナ感染防止のため礼拝は中止、教会の門も固く閉ざされましたが、その中で司祭様が発信してくださる言葉に導かれて神さまとつながることができました。暗い気持ちの中、奥様が優しい色のお花を飾ってくれたり、プロ級のお菓子のプレゼントは最高の癒しです。教会内、牧師館も大掃除し、内外共きれいに変身曇りなく信仰生活を歩むことを願います。

### 盛岡聖公会

2月26日に新牧師館・新園舎の引渡を受けました。牧師館は瀟洒なヨーロッパアン調で、ゆったりしたリビングルームと執務室もあります。

幼稚園は礼拝堂をモチーフにした正面で、広い廊下とテラスを設けた保育室、礼拝もで

きるホールになっています。

神様の見守りの中、東北教区の皆さんは元より全国の皆さんのご支援とお祈りで無事完成できたことに感謝します。新型コロナウイルスの影響でご披露できないのが残念です。

### 大館聖パウロ教会

#### ◇集い祈ることの喜び

外出や旅行等、今まで当たり前だった事が当たり前ではなくなつた現実。目に見えないウイルスに怯えた日々。

6月7日、2カ月半ぶりに教会に集い陪餐の御恵みに与りました。どのお顔も喜びに溢れ、心を一つにして主を賛美し、聖餐式は大きな感動に包まれました。まだまだ細かな制約はありますが、何より皆と共に礼拝できる事に感謝し、その喜びを大切に過ごしていきたいと思つています。

### 西の平聖パウロミッション

6月28日に久しぶりに李司祭様を囲んで聖餐式が行われました。

イエス様が一番大切なのに他のことに心を奪われていないか、思つてもみないことが

起きたり、悩んでいたりしていても、ここに来ればまた1週間頑張れる場が教会。みんなで心を一つに宣教しようというメッセージを頂きました。

開所から64年を迎える当伝道所は建物こそ古くて質素ですが、私たち十数名の信徒にとつて大切な信仰の場であることを再認識した礼拝となりました。

### 米沢聖ヨハネ教会

昨年クリスマスにフルートコンサートを開いた勝俣さんは、1967年頃日曜学校の生徒でした。教会の隣組の方は、その当時のクリスマスなど、神崎婦人伝道師のお話やケーキの思い出を話してくれました。教会の庭に花の苗をくださる方、しばらく歓談していく方が増えて、実は昔、通学の途中、教会の十字架に気づかなかつたと、思い出を語る方もあり、教会の歴史につながつたこれからの交わりが与えられています。礼拝を守り、小さな歩みを刻むことの大切さを思います。

この夏はコスモスの苗や立ち葵の種の希望者も現れ、周

囲の関心を集めています。

コロナ禍のあと、主にある交わりを重ねて、主の家族が増えることを願っています。

### 鶴岡聖公会

鶴岡聖公会では、2010年から管理牧師を務めてくださった涌井康福司祭の転任に伴い、今年4月1日から教区主教がその任を務めることになりました。2月23日に引き継ぎの礼拝を行ったあと、新型コロナウイルスのため4カ月間、礼拝に集まることできませんでした。6月14日から月一回の聖餐式を守ることができるようになりました。小さな交わりですが、ご加禱をお願いいたします。

### 福島聖ステパノ教会

#### ◇小さな眩き

●当教会がロケ地にもなったドラマ「エール」放送開始と同時にコロナ対策のため礼拝休止 ●今春から渡部司祭は兼務が増えて何かと多忙 ●6月から制約付きながら礼拝再開という状況が変化しました。しかし何はともあれ礼拝再開により生活リズムを少

し取り戻せたことに喜びを感じております。

コロナ禍の一日も早い終息と日常生活の正常化を願いつつ、眩きます。コロナ飛んできて。

#### 新コーナー

井教育・保育G青年部門  
今月からあけぼのの一角をお借りして、夏キャンプに代わる年末企画の準備状況を報告していきます。よろしくお願ひします。(鈴木 みのり)

8月2日は「日本聖公会青年活動のための日」です。宣教の器となる青年たちの学びと活動を覚えて祈り、献金をお勧めください。

#### 8月逝去者記念聖餐式

8月4日(火) 午前10時  
於 主教座聖堂  
司式 吉田 雅人 主教  
説教 越山 健蔵 司祭

伝道師 ルツ星 安代

1955年8月5日逝去  
主教 サムエル 今井 正道

1983年8月12日逝去  
司祭 John Cole McKim

1952年8月26日逝去  
司祭 パウロ 関屋 正彦

1994年8月27日逝去